

NEWS RELEASE

大阪体育大学体育学部は 2024 年 4 月、スポーツ科学部に生まれ変わった

大阪科学・大学記者クラブ、関西運動記者クラブ加盟各社御中

2024 年 6 月 5 日
大阪体育大学広報室

ボッチャ・内田選手 パリ・パラリンピック 日本代表推薦選手に内定 ～出場資格で閉ざされかけた扉が開く

日本ボッチャ協会は 5 日、大阪体育大学アダプテッド・スポーツ部・内田峻介選手（21）＝教育学部 4 年＝がパリ・パラリンピックへの出場権を獲得し、BC4 クラスの日本代表推薦選手に内定したと発表しました。昨年 12 月 31 日付の World Boccia 世界ランキングに基づき、7 位の内田選手に出場枠が割り当てられました。

BC4 は重度四肢機能障がい（非脳原性疾患）のクラスです。内田選手は昨年 12 月、アジア・オセアニア選手権（香港）でのクラス分け審査で「出場資格なし」（NE）と判定されました。NE と 2 回、判定されると、その判定が確定するため、3 月の代表選考会（ポルトガル）への派遣も見送られましたが、4 月 30 日開幕のワールドカップ（カナダ・モントリオール）に派遣されて「出場資格あり」と判定され、閉ざされかけた国際大会への扉が開かれました。

内田選手は 2021 年、大阪体育大学教育学部に入学。東京パラリンピックは日本代表の座を逃しましたが、開会式で聖火に点火する大役を務めました。2022 年、世界選手権に初出場し、日本選手として世界選手権史上初となる金メダルを個人で獲得し、ペアもベスト 4。2023 年 10 月のワールドカップは個人で銀メダル、ペアで銅メダル。大学では、アダプテッド・スポーツ部で、東京パラリンピック日本代表コーチを務めた曾根裕二監督（准教授）の指導を受けています。



内田選手は、12 月に「出場資格なし」と判定された後は「これからどうなるのか、自分の未来が真っ白になった感じで本当に苦しかった」と振り返っています。曾根監督やクラブの仲間ら周囲に励まされて今年 1 月の日本選手権に臨み、3 連覇を達成すると、「周りの人に支えられて、今、自分でできることを最大限にすることをテーマに取り組んだ結果です」と号泣しました。

<内田選手の経歴>

2002 年 08 月 20 日生まれ。山口県宇部市出身。山口県立山口南総合支援学校中学部 2 年からボッチャに本格的に取り組み、中学 3 年だった 2017 年、国を挙げた有望選手の発掘事業「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」1 期生に。山口南総合支援学校高等部 1 年の 2018 年、日本選手権で準優勝しました。2021 年 4 月、大阪体育大学教育学部に入学。2022 年 1 月の日本選手権 BC4 クラスで初優勝。12 月、世界選手権で個人金メダル、ペアはベスト 4。2023 年はワールドカップの個人で銀メダル、ペアで銅メダル。2024 年 1 月の日本選手権で 3 連覇。

※内田選手に関する取材の申請は、日本ボッチャ協会にお願いします
(media.japanboccia@gmail.com 03-6229-5439)